

# トヨタ生活協同組合メグリア朝日店

## 大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

### 届出概要

閉店時刻を午後8時から午後11時に繰下げるとともに駐車場利用時間を午前9時30分から午後11時30分までとする。(法附則第5条第1項)

### 届出事項

1	届出年月日		平成16年5月6日	
2	店舗名称		トヨタ生活協同組合メグリア朝日店	
	店舗所在地		豊田市朝日町1-6-1	
3	変更をする日		平成16年5月20日	
4	届出事項	変更前	変更後	
(1)	設置者	名称	トヨタ生活協同組合	
		代表者	理事長 神谷敏之	
		住所	豊田市豊栄町2-111	
		備考	なし	
	小売業者	名称	トヨタ生活協同組合	変更前に同じ
		代表者	理事長 神谷敏之	同
		住所	豊田市豊栄町2-111	同
		備考	他3名	同
(2)	店舗面積	1,240 m <sup>2</sup>	同	
(3)	駐車	位置	別紙図面のとおり	
		台数	89 台	
	駐輪	位置	別紙図面のとおり	
		台数	40 台	
	荷捌	位置	別紙図面のとおり	
		面積	117.0 m <sup>2</sup>	
	廃棄	位置	別紙図面のとおり	
		容量	26.0 m <sup>3</sup>	
(4)	営業	開店時間	午前10時	
		閉店時間	午後8時	
	駐車場利用時間帯		午前9時30分から午後11時30分まで (一部午後8時30分まで)	
	駐車場	出入口数	3箇所	
		出入口位置	別紙図面のとおり	
	荷捌時間帯		午前6時から午後6時まで	
	業態	食料品専門店		
用途地域	第1種低層住居専用地域			
参考	平成11年11月 開店			

### I 施設の配置及び運営方法関連事項

1 駐車需用の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

① 荷捌施設の整備等

ア 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	26m <sup>2</sup>	有	10分	2台	6台	

イ 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
9:00~10:00	6台	7:00~8:00	11:00~12:00	有	無	

# トヨタ生活協同組合メグリア朝日店

## ② 経路の設定等

### (1) 車両関係

#### ア 来客車関係

案内表示	案内員の配置	生活道路の回避	通学路の回避	右折経路	右折用車線	右折入庫
無	配置なし	非回避	非回避	無	有	有

#### イ 搬出入車両関係

通学路の有無	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員	評価
有	有	非配備	

※ 登下校時間に搬出入車両の運行(8時台1台)があるが、作業員の運営面での配慮を徹底するとしている。

## 2 生活環境悪化防止関係

### (1) 騒音発生に係る事項

#### ① 騒音問題対応策

##### ア 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	18m	19.5m	自動車走行	-	-	-
西方向	1.5m	無	室外機	2.0m	-	-
南方向	7.5m	無	自動車走行	-	-	-
北方向	10.5m	無	自動車走行	-	-	-

遮音壁の悪影響	なし	評価
---------	----	----

#### イ 荷捌・営業活動の騒音対策

荷捌施設建築計画面での配慮	住居に面しない西側に配慮
荷捌施設運営面での配慮	アイドリングストップ、時間調整による搬入待機車削減
荷捌施設機器選択面での配慮	運搬機器の整備、作業員の意識向上
放送設備使用面での配慮	屋外放送無し

#### ウ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機からの騒音	既存住宅に影響が少ない場所に設置、遮音壁を設置
給排気口からの騒音配慮	吹出し、吸込み口の形状検討、ダクトの吸音対策
駐車場からの騒音配慮	舗装整備をしております
廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避

## ② 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	冷却塔	空調室外機	23	給排気口	変電施設	浄化槽	ポンプ	エンジン等
		冷凍室外機	12	冷凍機械室		キュービクル	1		
変動騒音	ゴミ収集作業	○	BGM		アナウンス				
	自動車走行	○	荷捌アイドリング	○	後進警報ブザー	○			
衝撃騒音	荷降し音		台車走行	○					
建物の構造(高さ)									

#### ア 等価騒音レベル予測

		A(東)	B(南)	C(西)	D(北)
用途地域		第1種住居地域	第1種低層住居専用地域	第1種低層住居専用地域	第1種低層住居専用地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	41.9 dB	46.4 dB	52.3 dB	46.6 dB
	評価				
県	夜間等価騒音レベル	33.2 dB	34.0 dB	43.6 dB	37.9 dB
	評価				
昼間等価騒音レベル検証		妥当	妥当	妥当	妥当
夜間等価騒音レベル検証		妥当	妥当	妥当	妥当

# トヨタ生活協同組合メグリア朝日店

## イ 夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所図書館、特別養護老人ホームの有無					無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容					
		a(東)	b(南)	c(西)	d(北)
用途地域		第1種住居地域	第1種住居地域	1種低層住居専用地	1種低層住居専用地
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし
基準値		40dB	40dB	40dB	40dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	30.8dB	33.3dB	39.3dB	35.7dB
	評価	○	○	○	○
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	51.8dB	50.7dB	37.6dB	35dB
県	評価	△	△	○	○
	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当	妥当

※ 予測地点a、bは、基準値を超えているが、道路から離れたbに近い地点で実測した結果、閉店後の22時台、23時台とも周辺道路の交通騒音(22時台 62.3dB、23時台 63.0dB)が大きく、周辺住居への影響は少ないと思われる。

また、予測地点cは、定常騒音の騒音レベルが基準値に近い値であるが、主な音源の空調機がすべて稼動した場合を想定しており、室内の温度調整により運営面で配慮されるとのことである。

## (2) 廃棄物関係

悪臭問題関係配慮	回収施設は全て扉を設置し、密封性を向上させました。
衛生問題関係配慮	特になし

	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	15.30 m <sup>3</sup>	1日	0.40 t	0.10 t/m <sup>3</sup>	3.97 m <sup>3</sup>	変更なし	○
空缶・空き瓶	1.80 m <sup>3</sup>	1日	0.05 t	0.10 t/m <sup>3</sup>	0.46 m <sup>3</sup>	変更なし	○
厨芥・その他	8.90 m <sup>3</sup>	1日	0.35 t	0.15 t/m <sup>3</sup>	2.31 m <sup>3</sup>	変更なし	○
合計	26m <sup>3</sup>	-	-	-	6.74 m <sup>3</sup>	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	無	空缶・空き瓶の回収箱設置	有
生ゴミ堆肥化施設の使用	無	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	有
廃棄物等圧縮機の使用	無	食品加工場の設置	無
脱水装置の使用	無	物販店以外の施設との保管施設の共有	無

位置・構造	適正な分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控えます
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	無
	生ゴミ保管施設の気密性の確保	無

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	トヨタ生協
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	無
食品加工場併設の場合の運営上の配慮	特になし

評価
○

# トヨタ生活協同組合メグリア朝日店

市の意見概要	対 応
意見なし	—

住民等の意見の概要	対 応
意見なし	—

県の意見案
意見なし